感 染 研 発 第 ２ ３ 号
令 和 ６ 年 １ 月 １ ６ 日

各関係機関の長　　殿

国立感染症研究所長
（公印省略）

研究職員の公募について（依頼）

時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、この度当所では下記のとおり研究職員を募集することになりました。
つきましては、貴下職員に御周知下さるようお願い申し上げます。

記

１．職名等

職　　名	業　　務　　内　　容	応　　募　　資　　格
感染症疫学センター第四室・第五室・第六室 任期付研究員 （主任研究官クラス） （募集人数：若干名） 任期：採用予定日より５年 ※　任期満了後に任期の定めのない官職の公募に応募することは差し支えありません。	感染症疫学センターは、感染症その他の特定疾病に関し、次に掲げる事務をつかさどる （１）予防衛生に関し、情報の収集及び分析並びにこれらの結果の提供並びに疫学的調査及び研究を行うこと（血清及び病原体に関することを含む）。 （２）血清の収集、保存及び検査並びにこれらに必要な科学的調査及び研究を行うこと。 第四室（情報分析室）においては、感染症疫学センターの所掌事務のうち、感染症発生動向調査、積極的疫学調査を含む国内の感染症疫学データの収集、解析及び評価並びに海外の感染症情報機関との情報交換に関すること、第五室（情報還元室）においては、感染症発生動向調査に関する情報還元を目的とした定期刊行物並びにコンピューター通信を用いる感染症情報の提供に関すること、第六室（次世代情報室）においては、インターネット等を用いた国内外の感染症に関する情報の収集、解析及び評価並びに新規サーベイランスの構築と分析に関することをつかさどる。 うち採用予定官職では次の業務を行う。 １．感染症発生動向調査に関する業務 ２．感染症疫学データの収集、解析及び評価に関する業務 ３．感染症疫学研究	１．感染症または疫学に関する研究の経験があること ２．感染症サーベイランスに関する業務に積極的に取り組む意欲があること ３．大学院博士課程修了後概ね４年以上の学位（博士）取得者、もしくは同等と認められる者 ※上記１から３を満たすこと

２．提出書類
(1)履歴書（市販用紙使用、高等学校卒業以降を記入し、写真を貼付。）
(2)主要研究概要（１，２００字以内）
(3)応募職の業務内容に関する抱負（１，０００字以内）
(4)業績目録（Ａ４版縦　横書き、別紙参照）
(5)論文別刷（１編以上）
(6)学位記（写し）又は学位を証明するもの（Ａ４に縮小すること）
(7)障害をお持ちの方で職場内での配慮を希望する場合はその旨を記載した書類

３．書類提出先及び提出方法
〒１６２－８６４０　東京都新宿区戸山１－２３－１　国立感染症研究所　所長　脇田　隆字

※　応募書類の封筒に、「感染症疫学センター　第四室・第五室・第六室　任期付研究員（主任研究官クラス）　応募」と朱書きの上、所長宛て親展として書留にて郵送してください。なお、提出された書類は返却いたしません。

４．応募締切日　　令和６年３月２９日（金）必着

５．採用予定日　　令和６年７月１日（予定）

６．任期　　採用予定日より５年

７．処遇
（１）給与は、「一般職の任期付研究員の採用、給与及び勤務時間の特例に関する法律」（平成９年法律第６５号）に基づき支給する。主任研究官クラスの俸給は、同法第６条第１項により決定する。
（２）１週間当たりの勤務時間は、３８時間４５分（週休２日制）です。
（３）年２０日の年次休暇（採用の年は、採用の時期により２０日より少ない日数となります。）のほか、特別休暇（夏季・結婚・忌引・ボランティア等）、病気休暇の制度が整備されています。

８．選考採用試験スケジュール
（１）第１次審査（書類選考）　令和６年４月上旬（予定）
（２）第２次審査（面接試験）　令和６年４月中旬（予定）
※　第１次審査（書類選考）を通過された方には、当方から第２次審査（面接試験）に関する連絡をいたします。

９．勤務地　　国立感染症研究所　　戸山庁舎　　東京都新宿区戸山１－２３－１

１０．その他
国立感染症研究所と国立国際医療研究センターを統合し、新たな法人として「国立健康危機管理研究機構」を設置する「国立健康危機管理研究機構法」が令和５年６月７日に公布され、この法律の施行期日は、一部の規定を除き、公布日から起算して３年を超えない範囲内において政令で定める日となっています。このため、当該法律の施行により国立感染症研究所が法人となった場合、その日以前に本公募により国立感染症研究所職員として任用されていた者は、国家公務員ではなくなり、法人職員となります。

１１．問い合わせ先
国立感染症研究所　総務部人事課人事第一係　谷内
０３－４５８２－２６２５　　E-mail:jinji@nih.go.jp

１２．国立感染症研究所ホームページＵＲＬ　　https://www.niid.go.jp/niid/ja/appeal.html

業績目録

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１．　著書

２．学術論文（学会誌発表等）
（１）欧文

（２）邦文

３．学会発表（講演・発表等）

４．外部資金（研究費）獲得状況（研究代表者のみ、直近５年）

（記入上の注意事項（共通））
１．上記項目ごとに、著者名等、著書名等、発行所名（発表雑誌名）の順で記載し、それぞれを改行すること。
２．年代の新しいものから順に記載すること。
３．発行所名、発表雑誌名の次に巻号、ページ数及び発行等の西暦を記入すること。
（例：Journal of Virology, 78:1298-1315, 2002）
４．欧文の発表等は、原文のまま記載し、下段に（ ）書で和訳を記載すること。
５．各題名の書き出しに、発表形態の種別を記載すること。（単独は（単）、筆頭は（筆）、その他は（他））
６．著者名等は、本人以外も省略せず全て記載し、さらに本人の名前にアンダーラインを引くこと。
７．長期の無発表期間がある場合は、その理由書を添付すること。
８．査読有りの論文については最低限、記載すること。

（参考例）

１．著書

①労働太郎、厚生太郎
（他炎症の組織病態
○○社，PP.67-87，1989）

２．学術論文
（１）欧文
①Taro kousei、Jiro Kousei、Saburou Kousei、Tarou Roudou、Jiro Roudou、Saburou Roudou
（筆）An Outbreak of ○○○○○○○ Infection in USA , 2002
（○○○○○○○感染症のアウトブレイクー２００２年アメリカ）
Epidemiology and Infection, 15:286-289, 2002

（２）邦文
①厚生太郎、厚生二郎、厚生三郎、労働太郎、労働二郎、労働三郎
（筆）An Outbreak of ○○○○○○○ Infection in Oosaka, JAPAN, 2004
（○○○○○○○感染症のアウトブレイクー２００４大阪）
Epidemiology and Infection, 16:311-335 2004

３．学会発表
①厚生太郎
（単）ラット皮下腫瘍の消長と○○○の相互関係について
第２５回日本病理学会総会，東京，1989

４．外部資金（研究費）獲得状況（研究代表者のみ、直近５年）

①厚生労働省、○○（課題名）
期間：平成○○年～平成△△年、金額○○○円／年

②科学研究費補助金、（課題名）□□□□□
期間：平成○○年～平成△△年、金額○○○円／年